

平成三十一年度 福島県立光南高等学校 第二十四回 入学式 校長式辞

県南の地に光が差し、暖かい春の訪れを告げる桜の花が開き始めたこの佳き日に、御来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、平成三十一年度 福島県立光南高等学校 第二十四回入学式を挙げていただけますことは、真に喜ばしい限りであり、皆様に厚く御礼を申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました百八十七名の新入生の皆さん、入学おめでとう。本校の制服を身にまとい、今日から始まる高校生活に不安を感じつつも、皆さん一人一人の眼差しからは、新しい生活への期待と意欲が伝わってきており、大変心強く感じるところであります。

皆さんが入学しました光南高校は、平成8年に当時の教職員の熱い思いと、地域の方々の御協力により、高校教育の在り方を一から見直し、今から二十三年前の四月九日に、県内初の総合学科高校として、開校いたしました。

総合学科とは、これまでの、どの学校で学んだかという学歴偏重の社会を改め、どのような知識や技能、資格を身に付けたかなど、学習の経歴を重視する、言わば学習歴社会を創り出すという理想の下、普通科、専門学科に並ぶ新たな学科として設けられました。

また、本校の所在する矢吹町は、かつては火山灰に覆われた栄養に乏しい土地で、長きに渡り荒地でありました。しかし、戦後の国の開墾事業により、多くの人々がこの地に集い、昭和三十年の羽鳥ダム、羽鳥疎水の開通と、先人たちの血のにじむような努力により、豊かな田園地帯が拓かれました。本校は、開拓の町と呼ばれる矢吹町の歴史を受け継いでいると感じています。

自由、責任、そして、新たなものを創り出す、創造を校風とする本校は、文理進学、体育、家庭、情報ビジネス、テクノアート、福祉の六つの系列、百を超える選択科目の中から、自分の興味・関心に合わせて学習でき、二十九の部活動があるなど、学びの多様性は他校を圧倒しています。

第二十四期生となる新入生の皆さんには、日々の授業や部活動はもとより、学校行事や大会、発表会、資格試験、ボランティア活動など、様々な場面で積極的に挑戦し、多くの成功と失敗の経験を通して、自分自身を理解し、志を見出して欲しいと考えています。私たち、教職員一同、皆さんの心に寄り添い、夢や目標、進路の実現に向けて、精一杯サポートしてまいります。

このため、平成三十一年度の本校の学校経営方針として、次の三点を掲げました。

- 一つ、多様な個性がコラボレーションする学校
- 一つ、社会の中で生き抜く力を育む学校
- 一つ、安心して学び続けることのできる学校 です。

これらに込めた、君たちへの思いを伝えます。

まず、多様な個性のコラボレーションについてです。君たちには、授業において専門的な力を身に付けながら個性を磨くとともに、学校行事や部活動において、互いの個性

を發揮し合いしながら、新たな価値を生み出してもらいたい。今年は秋に芸術祭があります。芸術や文化に留まらず、様々な分野がコラボする一大ムーブメントを巻き起こして欲しいと思っています。

しかし、周りの状況を把握せず、自己主張するだけでは、独りよがりの単なる我が儘となり、個性の融和は図れません。中国の思想家 孔子の言葉を集めた論語の中に、「人の己を知らざるを憂うべからず、己の人を知らざるを憂うべし」という言葉があります。周囲が自分を理解してくれないことを悲しむよりも、自分が他人のことを理解できないことを悲しむべきだという意味です。

人の個性は様々です。元気良く外見上に現れるものもあれば、熱い思いを内に秘めた個性もあります。自己中心的な考えから一歩引いて、他者を理解するところから、自分の個性の發揮の仕方が分かり、個性をより輝かせることができます。

次に、社会の中で生き抜く力についてです。三十年余り続いた平成が間もなく幕を閉じ、令和の時代が始まり、日本全体が変わろうとしています。変革期を生きる君たちは、新聞やテレビ、ネットなどを通して時代の変化をしっかりと捉え、冷静に考え、公正に判断し、適切に行動する姿勢を身に付けてください。

しかし、流行を追い求める余り、時代に流され、自分を見失い、右往左往しているようでは、社会を生き抜くことはできません。高校生活の中で、自分の良さに気づき、自分に自信を持ち、自分を愛し、大切にしてください。そして、生涯に渡り生き抜くことのできる普遍的な力、自分なりの生きる術、自分の強み、自分の武器を見出して欲しいと思っています。

最後に、安心して学び続ける環境づくりについてです。まず、私たち教職員は、君たちが安全に、安心して学ぶことができる学校づくりに全力で取り組んでまいる覚悟です。その上で君たちは、毎日を過ごすこの学校を、誰もが居心地の良い空間としてください。互いの個性を認め合い、受け入れ合いながら、自分の個性に磨きをかける学舎には、いじめや暴力などは存在するはずもありません。さらに、親や教職員以外の地域の方々との交流等を通して、多様な価値観に触れながら、社会の中で学び続ける力を身に付けてください。

さて、保護者の皆様に申し上げます。お子様の御入学、おめでとうございます。これまでの様々な御労苦を思う時、本日の喜びは如何ばかりかと拝察いたします。教職員一同、皆様にとってかけがえのない存在であるお子様の教育に、如何なる時も誠意を持って、真摯に携わってまいります。家庭と学校が両輪となり、互いに協力し合うことで、相乗効果が生まれると考えておりますので、相談事があれば、遠慮なく担任を通して御連絡くださるよう、お願いいたします。

結びに、本日、御臨席を賜りました御来賓の皆様には深く感謝申し上げますとともに、新入生の皆さんの高校生活が充実したものとなることを心より願い、式辞といたします。

平成三十一年四月九日

福島県立光南高等学校長 郡司 完